

千本桜のもと春を満喫

初のさくらまつり開催

市の桜の名所を知ってもらおうと5月2日平滝沼公園で「亀ヶ岡さくらまつり」が行われ、市内外の家族連れら約二千人が訪れました。

低温の影響で開花が心配されましたが、4月30日頃からほころび始め、まつり当日は春らしい穏やかな好天で桜も五分咲き。訪れた家族連れらは食事を楽しんだり、歌を聞き入ったりと、つがる市で初めて開催されたさくらまつりを楽しんでいました。



平滝沼公園とその隣にある亀ヶ岡公園は、昭和50年頃から少しずつ植樹され、30年余りかけてようやくソメイヨシノ、ヤエザクラ、シダレザクラなど計約千二百本の桜が花を咲かせるようになりました。平滝沼公園はこれまで地元の人や知る人ぞ知るいわば「隠れた名所」として家族連れや友人同士がピクニックや宴会を行う憩いの場となっていました。もともと多くの人々にその魅力を伝えるため、12月の東北新幹線新青森駅開業に向けた観光素材の掘り起こしも視野に入れ、市観光協会（伊藤良二会長）が実施しました。

まつりは来場者への桜苗木プレゼント配布から始まり、サエラコンサートや「よさこい蒼天飛翔つがる」による踊りなどさまざま



平滝沼公園 周辺スポット



【**亀ヶ岡公園**】公園内に大型遊具があり、子どもの遊び場として人気がある。



【**平滝沼**】豊かな自然の中にある平滝沼は津軽半島でも最大規模の天然の湖沼。さまざまな湿原植物が見られる。



【**平滝村廃村跡**】享保10年（1725年）自然の猛威により廃村となった平滝村跡地。当時の庭木であった松の木が古（いにしえ）の十三街道跡と共に昔を物語る。



【**縄文館**】亀ヶ岡遺跡で出土された土器や石器など約2000点をはじめ考古資料が展示されている。



1



2



3



5



6



7

1 歓迎の挨拶を述べる観光協会の伊藤良二会長。

2 植樹祭：初めてのさくらまつり開催を記念して亀ヶ岡公園で来賓らが桜の苗木20本を植樹した。

3 カラオケショー：屋外ステージでは演歌の競演が行われまつりを盛り上げた。

4 サエラコンサート：五所川原市を拠点に県内外で幅広く活動する女性デュオ「サエラ」のコンサート。東北新幹線新青森駅開業応援ソング「恋して青森」ほか民謡、演歌、ポップスなどジャンルをこえた楽曲をトークを織り交ぜながら歌う。

5 市特産品販売コーナーやゲームコーナーも開店。大盛況のバーベキューコーナー。

6 劇団夜行館によるお化け屋敷も登場。

7 童謡「蕾（つぼみ）の会」による美しいコーラスが披露された。

なイベントが行われ、市内の家族連れは「地元なので毎年来ている。賑やかでいい。来年もやってほしい」と話していました。また市外から来た人たちからは「子どもがのびのび遊べるのがいい」「落ち着いてゆっくりできる。他のさくらまつりとは違った良さがある」との声がかげられました。

